

○ 「福島県の災害廃棄物等の処理進捗状況についての総点検」(平成25年9月10日)を踏まえ、対策地域内廃棄物処理計画(以下「処理計画」という。)の見直し(平成25年12月26日)を行い、処理計画に基づき災害廃棄物等の処理を実施中。

○ 平成28年1月時点で、災害廃棄物等(帰還困難区域を含まない)について、11市町村合計で約116万5千トンと推定。

○ 平成27年度までに、帰還困難区域を除いて、津波がれきの仮置場への搬入、特に緊急性の高い被災家屋等の解体・仮置場への搬入、帰還の準備に伴って生じる家の片付けごみの一通りの回収について完了。

○ その他の、被災家屋等の解体及び継続的に排出される片付けごみの回収については、引き続き対応しているところ。

災害廃棄物等の仮置場への搬入は、平成28年7月末時点で、約96万トン完了(うち、約15万トンが焼却処理済、約37万トンが再生利用済)。搬入された災害廃棄物等は可能な限り再生利用を行っている。種類別の処理の状況は次のとおり。

### (1) 津波による災害廃棄物の処理

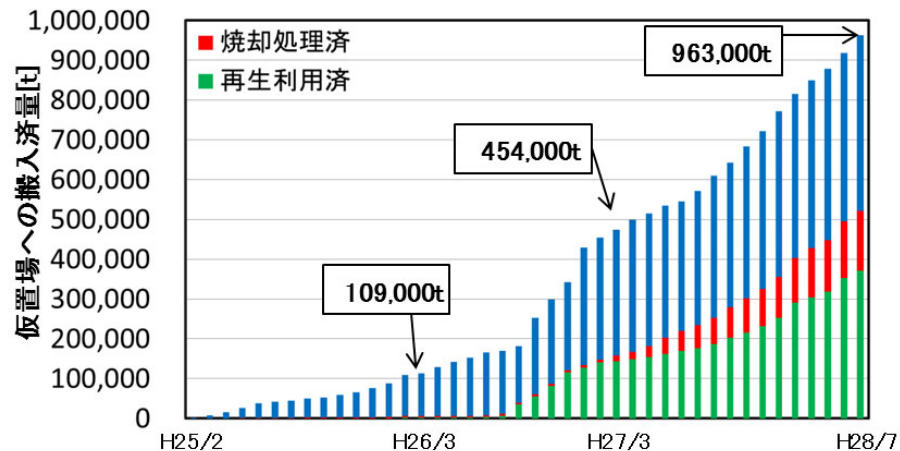
○ 平成28年3月に、帰還困難区域を除いて津波がれきの撤去と仮置場への搬入を完了。搬入された廃棄物は、重機等により破碎・選別処理を実施。

### (2) 被災家屋等の解体撤去

○ 被災家屋等の解体関連受付・調査を行い、順次解体撤去を実施中。解体撤去申請は約9,100件受付済であり、解体工事公告済は約6,700件、うち、解体撤去済は約3,600件。

### (3) 片付けごみの処理

○ ステーション回収や戸別回収訪問を行っており、戸別回収については、希望者と日程を調整の上、回収を実施。



対策地域内の災害廃棄物等の仮置場への搬入済量  
注) 仮置場へ搬入せずに処理する量も含む。



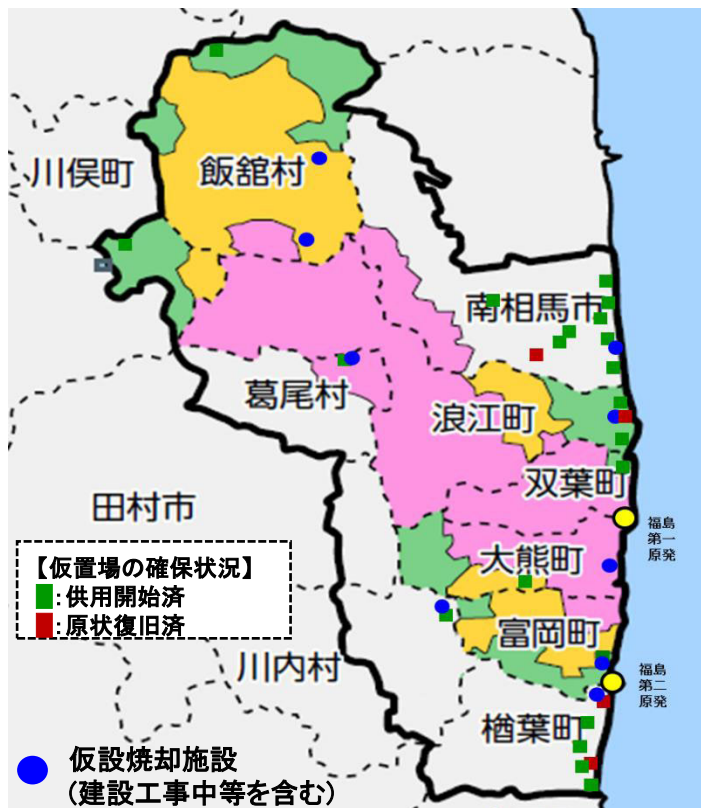
撤去前(平成26年7月)



撤去後(平成28年3月)

浪江町における津波がれきの撤去状況

# 国直轄による福島県における仮置場と仮設焼却施設の設置状況(平成28年9月2日時点)



## (1) 仮置場の確保状況

- 当面必要な仮置場25箇所において供用開始済(うち4箇所においては原状復旧済)。
- 仮置場における、環境モニタリングデータを公表中(※1)。

## (2) 仮設焼却施設の設置状況

- 8市町村(9施設)において仮設焼却施設を設置することとしている。うち、6施設は稼働中、1施設は建設工事中、1施設は建設工事準備中、1施設は処理完了。
- 仮設焼却施設における、環境モニタリングデータを公表中(※1)。

(※1) 環境省放射性物質汚染廃棄物処理情報サイト <<http://shiteihaiki.env.go.jp/>>

立地地区	進捗状況	処理能力	処理済量 (平成28年7月末時点)
川内村	災害廃棄物等の処理完了	7t/日	約2,000トン(約2,000トン)
飯舘村 (小宮地区)	稼働中(平成26年11月より)	5t/日	約2,200トン(約2,200トン)
富岡町	稼働中(平成27年4月より)	500t/日	約104,000トン(約25,000トン)
南相馬市	稼働中(平成27年4月より)	200t/日	約52,000トン(約52,000トン)
葛尾村	稼働中(平成27年4月より)	200t/日	約64,000トン(約9,900トン)
浪江町	稼働中(平成27年5月より)	300t/日	約92,000トン(約48,000トン)
飯舘村 (蔵平地区)	稼働中(平成28年1月より)	240t/日	約4,700トン(約3,200トン)
楢葉町	建設工事中	200t/日	—
大熊町	建設工事準備中	200t/日	—
双葉町	処理方針検討中	—	—
川俣町	処理方針検討中	—	—
田村市	既存の処理施設で処理中	—	—



楢葉町の仮設焼却施設  
(平成28年6月)

※処理済量については、除染廃棄物も含み、()内はうち災害廃棄物等の処理済量。

# 国直轄による福島県内市町村毎の災害廃棄物等の処理進捗状況(平成28年9月2日現在)

市町村	災害廃棄物等の 仮置場への搬入済量 (平成28年7月末時点)	災害廃棄物等の処理状況
南相馬市	約41.7万トン	<p>【津波がれき】<b>仮置場に搬入完了。</b></p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約2,800件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約2,200件公告済、うち、約1,400件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
浪江町	約24万トン	<p>【津波がれき】<b>仮置場に搬入完了。</b></p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(約1,500件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約950件公告済、うち、約440件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
双葉町	約1.3万トン	<p>【津波がれき】<b>仮置場に搬入完了。</b></p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(22件申請受付済)であり、解体撤去を準備中(2件公告済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
大熊町	約1,200トン	<p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(約110件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約60件公告済、うち、約10件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
富岡町	約10.8万トン	<p>【津波がれき】<b>仮置場に搬入完了。</b></p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(約1,500件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約850件公告済、うち、約510件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
楢葉町	約10.7万トン	<p>【津波がれき】<b>仮置場に搬入完了。</b></p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(1,248件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(1,233件公告済、うち、約760件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。南部衛生センターで処理中。</p>

# 国直轄による福島県内市町村毎の災害廃棄物等の処理進捗状況(平成28年9月2日現在)

市町村	災害廃棄物等の 仮置場への搬入済量 (平成28年7月末時点)	災害廃棄物等の処理状況
飯舘村	約3.2万トン	【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約1,100件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約620件公告済、うち、約210件解体撤去済)。 【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。
川俣町	約7,800トン	【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約350件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約320件公告済、うち、約60件解体撤去済)。 【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。
葛尾村	約2.9万トン	【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約360件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約280件公告済、うち、約60件解体撤去済)。 【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。
田村市	※仮置場は 設置しない方針	【被災家屋等】被災家屋等について、解体撤去済(19件)。 【片付けごみ】既存の処理施設で処理済。
川内村	約8,800トン	【被災家屋等】被災家屋等について、解体撤去済(102件)。 【片付けごみ】仮置場に搬入完了。

※1: 帰還困難区域の災害廃棄物等は除く。

※2: 片付けごみは、帰還準備を行う住民の方の希望に応じて回収を実施している。

※3: 推定量や仮置場への搬入済量については、有効数字2桁で四捨五入。但し、10万トン以上の場合は、1,000トン未満を四捨五入。

※4: 被災家屋等の解体撤去申請受付済件数、解体公告済件数及び撤去済件数は平成28年8月5日時点での件数。解体撤去済件数は、完了検査が終了した件数。